

# 八丈出張所管内感染症発生動向調査

東京都島しょ保健所 八丈出張所管内(八丈町・青ヶ島村)



タメトモユリ



ストレチア  
Strelitzia

【定点把握疾患】2026年第4、5週(1月19日~2月1日)

八丈島 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:2件(4週)、1件(5週)  
COVID19:6件(4週)、10件(5週)

青ヶ島 なし(4週、5週)

【東京都全体の状況】東京都感染症情報センター 第3・4週(1月12日~1月25日)

- (3週) 対象疾患全体的に定点当たり報告数が減少していますが、年末年始の休診の影響が考えられます。
- (4週) インフルエンザの定点当たり報告数は、13.83となり、再度注意報基準を超えました。
- (4週) 感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、13.05と前週を上回っています。

## 島しょ保健所 八丈出張所管内 嘔吐物処理講習会(ノロウイルス)



令和8年1月、管内の社会福祉施設を対象に、保健所の保健師2名による「嘔吐物処理」に関する講習と実技研修を行いました。ノロウイルスは冬季に流行しやすく、嘔吐物を適切に処理できないと感染が広がる大きな原因となります。今回の研修は、感染を防ぐための正しい手順を、基礎から実践まで分かりやすく学んでいただくことを目的に実施しました。

講習ではまず、動画を活用しながら、嘔吐物処理の注意点や、拭き取りは「外側から内側へ」一方向で行う基本動作など、現場で役立つポイントを確認しました。また、個人防護具(マスク・手袋・ガウン等)の正しい着脱方法や、次亜塩素酸ナトリウムを用いた消毒手順など、感染予防に欠かせない基礎知識についても解説しました。

続く実技では、参加者がチームに分かれて嘔吐物処理を模擬体験しました。参加者からは「実際に手を動かすことで理解が深まった」といった声も寄せられました。

最後には振り返りの時間を設け、日頃の準備などについて、意見交換を行いました。嘔吐物処理セットについて「必要なものが入っていない」「必要な場所に置かれていない」など、現場ならではの気づきが多く共有され、参加者同士の学びがさらに深まる時間となりました。今回の研修を通して、日頃からの備えと正しい手順の習得が、感染拡大防止に大きく寄与することを改めて確認できました。今後も、地域の皆さまが安心して過ごせるよう、管内の感染症対策をしっかりとサポートしていきます。



↓ 今回の研修で使用した資料のリンクを載せました。

都保健所 YouTube: 10分で学ぶ!嘔吐物の処理方法

<https://youtu.be/hgcHrW2Ytfc>



社会福祉施設等におけるノロウイルス対応標準マニュアル ダイジェスト版(東京都保健医療局)

[https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/shokuhin/noro/files/NVmanual-digest\\_r05.pdf](https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/shokuhin/noro/files/NVmanual-digest_r05.pdf)



島しょ保健所では島の11医療機関から感染症の報告をいただき、情報提供をしています。

※八丈出張所管内、東京都(全域)、全国の発生動向につきましては、下記のホームページでもご覧になれます。

○島しょ保健所八丈出張所 <https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/shisetsu/jigyosyo/hokenjyo/tousyo/hachijou>

○東京都(全域) ⇒ Web版感染症発生動向(東京都感染症情報センター) <https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>

○全国 ⇒ 国立健康危機管理研究機構(感染症情報提供サイト) <https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/index.html>

○厚生労働省感染対策 [https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kenkou-iryousoudan.html#h2\\_1](https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kenkou-iryousoudan.html#h2_1)

